

列車内で切りつけ・放火事件発生！

京王線緊急現地踏査を行う

10月31日午後8時頃、京王線上り特急列車車内で刃物を持った男に乗客が切りつけられるなどして17人が負傷する事件が発生しました。けがをされた方の一日も早いご回復を祈念いたします。

事件発生後、国領駅に緊急停車した列車の窓から乗客が次々と脱出する様子が報道されています。現地を把握するために11月1日に現地踏査を行いました。

【現地の特徴点】

- ・トンネル内（地下）の駅
- ・有人改札がある
- ・島式ホーム
- ・列車火災発生時の避難誘導の看板が設置されている
- ・ホーム上に駅員呼出インターホンが設置されている
- ・ホームドアが設置されている
- ・乗降口以外に足場がない（列車側）
- ・ホームドアと列車との隙間がほとんどない
- ・新宿方は直線、調布方はカーブしている（カントあり）
- ・停止位置付近は上り勾配でその先も上り勾配が続く
- ・隣駅（柴崎駅）は地上駅でホームドア未設置

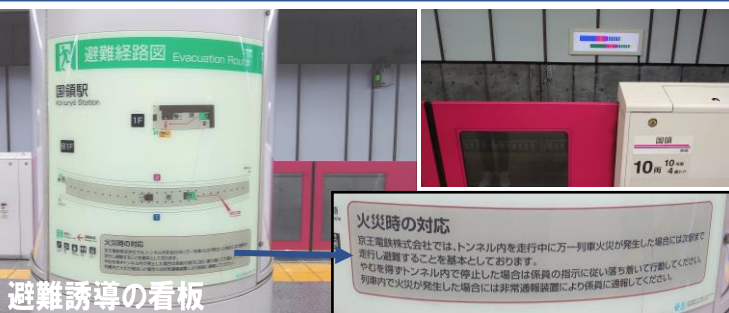
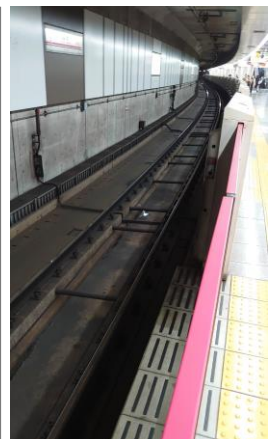


【現地で感じたこと】

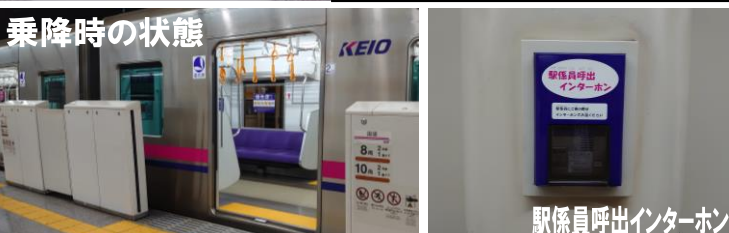
- ・緊急事態発生を周囲に知らせる方法の整備
- ・ホームドアを乗務員側又は駅側から一斉に緊急開放できるしくみづくり
- ・車内秩序の維持やお客さまとのコミュニケーション手段確保のための要員配置（運転士は走行中お客さま対応できない）

【組合員の声】

会社は「業務用タブレットを用いて、テロ警戒などの対応を見ておくように」と点呼で言うだけです。前回発生した小田急の事件の時もそうですが、事故防止の議論を行う場が設けられていません。我々から議論を巻き起こさなければなりません。



避難誘導の看板



駅係員呼出インターホン

乗降時の状態

二度とこのような悲惨な事件は発生すべきではありません！社員への教育はどうだったのか？乗客への事前周知や当日の案内はどうだったのか？結果からどうすべきだったのか？議論を進めていき、必要な事は会社へ求めていかなければなりません。